

EX・VISION HIROKO KOSHINO

To the Future 未来へ

2021年4月8日(木)～6月20日(日) 兵庫県立美術館



2011年春夏コレクション

この展覧会では、デザイン画や歴代コレクション、水墨画などを通して、コシノヒロコの仕事の全貌に迫ります。芦屋に建つ安藤忠雄設計の自邸に30年以上暮らし、安藤建築の中で創作活動を続けています。同じく安藤が設計した兵庫県立美術館を会場に、広い空間を生かしたダイナミックな展示をご覧ください。

また本展は、コシノの魅力を探る場であるとともに、次世代とくに子どもたちへ手渡すバトンでもあります。困難と繁栄の時代を生き抜いた女性アーティスト・コシノの作品に接することで、「ときめき」や「本当の豊かさ」を、来場者が見いだす機会となるでしょう。



WORK#1078 388.0×220.0cm 和紙、布、墨、ジェッソ、アクリル絵具、パステル、木炭/木製パネル 2013年制作

profile プロフィール

コシノヒロコ

大阪、岸和田市生まれ。文化服装学院在学中よりキャリアを重ね、東京、大阪、パリ、ローマ、上海などでコレクションを発表する一方、プラハやハンブルクで異分野のアーティストとのコラボレーションによるイベントも開催。HIROKO KOSHINOの名で6つの婦人服ブランドを展開するほか、バッグや小物、ライフスタイル関連グッズ、紳士服など、数多くのファッションアイテムのデザインを手がけている。近年は絵画・書画のアート作品を発表する機会も多く、自身の作品を発表するスペースとして、2013年KHギャラリー芦屋をオープン。2017年、デザイナー60周年記念本『HIROKO KOSHINO - it is as it is あるがまま なすがまま』を出版。1997年第15回毎日ファッション大賞、2001年大阪芸術賞受賞。



KHギャラリー芦屋外観

【KHギャラリー芦屋】 奥池町17-5/☎63-5678
営業時間：午前11時～午後4時〈要予約〉 水曜日休館
詳細・予約はホームページで。



KHギャラリー

芦屋はね、春は桜、梅雨の時期は紫陽花、秋に木々が紅葉し、冬には雪が降る。目に映る景色、心を和ませる匂い、身にまとう空気、全ての感覚が刺激になって、私にインスピレーションを与えてくれる。

の世界を作っていくという強い気持ちは、人間を形成する上で、とても必要なものだと思います。

「EX・VISION HIROKO KOSHINO To the Future 未来へ」への想い

次なる挑戦

これからやりたいことの1つは、4月に県立美術館で開催する展覧会を成功させることです。ファッションデザインと絵画と一緒に展示する、世界で初めての展覧会。訪れてくれた人たちに楽しんでもらえるように、プロジェクションマッピングを使用して空間的な面白さを演出し、子どもたちとのワークショップも企画する。この展覧会に訪れた子どもたちが大きくなった時に『子どもの頃に観たあの時の展覧会にとっても影響を受けました』っていう子どもが出てきてくれるくらい素敵な展覧会にしたいと思っています。

私は、子どもの頃から歌舞伎を鑑賞し長唄を習うなど、綺麗なものを沢山見せてもらえる非常に良い環境で育ちました。そのおかげで今の仕事でも、独自のコンセプトでオリジナリティーを持っているのだと思います。ですから子ども時代の過ごし方はとても大切です。今回の展覧会は特に子どもたちやこれから育っていく人たちに観てもらいたいと思っています。

アートや音楽で人間の心を豊かにして、物の考え方の豊かさを追い求めることは非常に大切です。人々の生活の中にアートが溶け込み、もっと世の中の文化レベルが高くなって欲しいと思っています。今回の展覧会が文化レベルの向上に少しでも役に立てられるように、いま全力で企画しています。

インタビューを終えて

コシノヒロコさんの『自分に厳しく、挑戦し続けるファッションデザイナーとしての矜持(きょうじ)と、この地で四季を感じ過ごす芦屋への愛』を深く感じる事ができました。ありがとうございました。